

(様式2(1))

事業所名 認知症高齢者グループホーム丘の風

作成日: 令和5年3月23日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「共に過ごす。地域で過ごす。」を事業所理念に掲げ、一人一役を目標に利用者との関わりを考えてきたが、もっと利用者を主体とした取り組みが必要と思われる。そのためには、スタッフ一人ひとりの意識向上も求められる。	事業所理念の実践のためにスタッフのなすべきことを明確にし、全スタッフが共通の認識を持って、日々の利用者への関わり方を考えられるように取り組んでいく。	・フロア会議や運営会議において、理念実践のために必要なスタッフの行動目標を作成する。 ・利用者一人ひとりの役割について、創意工夫を凝らし幅広い役割を作っていく。 ・地域行事や商店への買い物など、ホームから出掛ける機会を毎月作っていく。	6ヶ月
2	4	コロナ禍にあって運営推進会議に利用者やご家族が出席する機会が無くなっている。	運営推進会議において利用者又は家族からの評価も受けることで、当ホームの健全な運営とサービスの向上に取り組んでいく。	・ご家族が参加できるように柔軟な日程調整に取り組む。 ・会議スペースを確保するため、会議はフロアの一角を使って行なうことにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。